



積雪、寒冷時の取り扱い

積雪時、寒冷時に必要となる
運転知識について説明しています。

■ 積雪、寒冷時の取り扱い

冬に向かってのお手入れ -----	218
走行前点検と準備 -----	218
積雪、寒冷時の走行 -----	219
走行中の点検と注意 -----	221
走行後の取り扱い -----	222



積雪、寒冷時の取り扱い

冬に向かってのお手入れ

点検方法などは、別冊の「メンテナンスノート」に記載していますので、参照してください。

バッテリー

気温が下がるとバッテリーの性能が低下しエンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

エンジン オイル

冬期はオイルの劣化が激しくなります。指定グレードのエンジン オイルを、早めに交換してください。

冷却水

冷却水の凍結を防ぐためにクーラント（不凍液）の濃度の確認をスバル販売店に依頼してください。

ウインドウ ウォッシャー液

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

走行前点検と準備

走行前点検の際に下記の点検も行ってください。

足回りなどの着氷

車の下回りをのぞいて、足回りなどに氷塊が付着していないか確認してください。付着している氷塊は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうかも確認してください。

車体への積雪

屋根に積もった雪は、走行する前に取り除いてください。走行時、ガラス面に落下すると視界のさまたげとなり危険です。

△注意

- 氷結している部分を無理に取り除くと塗装などをいためる場合がありますので注意してください。

ドアの凍結

ドアが凍結した場合は無理に開けようとするとドア周りのゴムがはがれたり、破損するおそれがあります。ぬるま湯をかけて氷をとかしてください。開けたあとは水分をよくふき取ってください。不十分ですとまた凍結することがあります。



ウィンドウ ガラスの凍結

凍結しているときは、ぬるま湯をかけて氷をとかし、水分をよくふき取ってください。

⚠️注意

- 氷をとかすときはぬるま湯を使用し、熱湯はかけないでください。ウィンドウ ガラスが割れるおそれがあります。
- フロント ウィンドウ ガラスに付いた氷を取り除くために、氷をたたいて割らないでください。フロント ウィンドウ ガラスの内側（車内側）が割れるおそれがあります。

ワイパーなどの凍結

ワイパー、ドア ミラー、ドア ガラスなどが凍ったり、雪が固まって動かないときは、ぬるま湯をかけて氷や雪をとかし、水分をふき取ってください。

⚠️注意

- 凍結したまま、または雪が固まったままワイパー、ドア ミラー、ドア ガラスなどを無理に作動させると、ワイパー ゴムを損傷したり、モーターなどが故障するおそれがあります。

乗車時の注意

靴にこびりついた雪は、乗車時によく落としてください。ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。また、床面などが加湿状態となり、腐食の原因となります。

積雪、寒冷時の走行

雪道、凍結路を走るときはタイヤ チェーンまたはスノー タイヤを装着してください。

⚠️注意

- 積雪時は、スピードを控えめにしてください。路面が凍結している可能性が高く、大変スリップしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。チェーン装着車、スノー タイヤ装着車、またAWD車、ABS装着車であっても慎重な運転をしてください。

タイヤ チェーンの装着

後輪駆動車ですので、チェーンは後ろ 2 輪に装着します。AWD車も後ろ 2 輪に装着します。

タイヤ チェーンは、スバル純正タイヤ チェーンを使用してください。詳しくはスバル販売店にご相談ください。



積雪、寒冷時の取り扱い 積雪、寒冷時の取り扱い

⚠注意

- タイヤ チェーンは車のタイヤのサイズに合った、スバル指定品または指定サイズの使用してください。サイズの合わないチェーンを使用すると、ブレーキ配管や車体を破損し、危険です。
- タイヤ チェーンの取り付けは各タイヤ チェーン付属の取扱説明書にしたがって行ってください。
- タイヤ チェーン装着時は 30km/h以上で走行しないでください。タイヤ チェーンにかかる負担が大きくなり、チェーンが切れやすくなります。
- 取り付け作業は雪上などをさけ交通のさまたげにならない安全で平らな場所で行ってください。必ず駐車ブレーキをかけ、非常点滅灯を点滅させ、人や荷物は降ろし、停止表示板も使用してください。
- 作業をするときは、車体端部などでけがをしないように注意してください。
- 応急用スペア タイヤには標準タイヤ用のタイヤ チェーンは装着できません。後輪がパンクした場合は、応急用スペア タイヤを前輪に装着し、外した前輪タイヤを後輪に取り付け、これに標準タイヤ用タイヤ チェーンを装着してください。

👉アドバイス

- タイヤ チェーンを装着するとホイール キャップやアルミ ホイールに傷が付くおそれがあります。ホイール キャップ装着車はホイール キャップを取り外した状態で、タイヤ チェーンを装着してください。

スノー タイヤの装着

⚠注意

- スノー タイヤ装着時も、必ず標準タイヤと同じ指定サイズで、同一種類のタイヤを装着し、指定空気圧で走行してください。また、スノー タイヤを装着するときは、4 輪とも同じ種類の物に交換してください。
- 地方により条例の違いがありますので、その地区の条例にしたがってください。



走行中の点検と注意

ブレーキの凍結

積雪、寒冷時ではブレーキ装置に付着した水が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキパッドのしめりを乾かしてください。

⚠注意

- 万一、ブレーキの効きが回復しないときは、ただちにスバル販売店で点検を受けてください。

雪道、凍結路の注意

⚠注意

- 雪道や凍結路では、急加速、急減速、急ブレーキ、急ハンドルをさけてください。スリップして方向性を失い事故につながるおそれがあります。

走行中の雪の付着

雪道走行時、タイヤハウス裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなることがあります。ときどき異常のないことを確認してください。ランプ類などは、走行中に雪のために暗くなることがあるので、ときどき異常のないことを確認してください。

パンク時の対応

タイヤチェーン装着時、後輪がパンクした場合は、応急用スペアタイヤを前輪に装着し、外した前輪タイヤを後輪に取り付け、これにタイヤチェーンを装着してください。

応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。



積雪、寒冷時の取り扱い 積雪、寒冷時の取り扱い

走行後の取り扱い

駐車方法

屋外に駐車するときは、車の前部を風下や日の当たる方向に向けて止めてください。

エンジンが冷えすぎると、始動しにくくなることがあります。

また、ワイパー アームは起こしてください。雪の重みでアーム取り付け部がこわれることがあります。

アドバイス

- 寒冷時は駐車ブレーキをかけるとブレーキ装置が凍結して駐車ブレーキが解除できなくなるおそれがありますので使用しないでください。セレクト レバーをPレンジに入れておきましょう。
- 軒下や樹木の下での駐車はさけてください。落雪で車体を損傷するおそれがあります。

洗車方法

凍結防止剤をまいた道路を走行したときは、早めに下回りを洗車してください。放置すると腐食の原因となります。洗車後は凍結防止のため水分をよくふき取ってください。

アドバイス

- ドアのキー挿入口やドア周りのゴム部の水分は特によくふき取ってください。

格納方法

長時間使わないで屋外に放置しておくときは、塗装面の保護とドア周りの凍結を防ぐために、ボデー カバーを使用してください。

注意

- エンジンの冷えすぎを防ぐために毛布でおおったり、フロント グリルに段ボールや、新聞紙を挟み込まないでください。これがもとで燃え出す危険があります。

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.